

## 「きたひろしま生活シート」の取組みにおける「事後アンケート」の結果について

### 1 事業目的

近年、家庭での生活習慣に課題が見られることが多く、このことが日々の学習や心身の発達などに影響を及ぼしていることが指摘されている。

このような状況を克服し、家庭教育を支援するため、子どもの生活習慣の改善に関する実践活動を推進し、家庭の教育力の向上を図ることを目的とする。

### 2 事業内容

「きたひろしま生活シート」を、市内各小中学校を通じて各家庭へ配布し、一定期間、生活習慣に関する調査を依頼した。

各家庭で取り組んだ「きたひろしま生活シート」の活動結果を、「事後アンケート」に記載し、「事後アンケート」のみを回収し集計した。

#### (1) 「きたひろしま生活シート」について

北海道教育委員会において開発された「生活リズムチェックシート」を基本に、北広島市内の状況を勘案し、独自の調査シートを作成し取組みを実施した。

※「きたひろしま生活シート」別紙参照

#### (2) 「事後アンケート」について

「きたひろしま生活シート」の内容を整理するほか、生活シートの活用状況、生活習慣の変化などを児童・生徒が保護者とともに「事後アンケート」に記載（無記名）し、封書にて学校を経由し回収した。

※「事後アンケート」別紙参照

#### (3) 調査対象学年について

小学校4年生と、中学校1年生を対象として実施した。

なお、大曲小・大曲東小、大曲中については、北海道教育委員会の「北海道学力向上トリプルUP！事業ジョイントプロジェクト推進校」の指定を受け、既に同様の取組みを行っていることから、集計では問1(1)～(3)に推進校のデータを含めて行った。

	対象者数	回答者数	回収率	推進校
小学4年生	374人	267人	71.4%	131人（大曲小・大曲東小）
中学1年生	389人	351人	90.2%	182人（大曲中）

#### (4) 調査期間

平成 24 年 11 月 11 日（日）から 17 日（土）の 7 日間を基準とし実施した。

#### (5) その他

集計の参考にした北海道のデータは、平成 24 年度道内の推進校で取組んだ「生活リズムチェックシート」事後調査票から引用している。

### 3 調査概要

#### ■児童生徒を対象とした内容

問 1

(1) 睡眠時間

①寝る時刻

②起きる時刻

(2) 学習時間

(3) 読書時間

(4) テレビ・ゲームの時間

(5) その他の時間

(6) 朝ご飯について

(7) 運動について

(8) お手伝いについて

問 2 「きたひろしま生活シート」の取組み状況

問 3 「きたひろしま生活シート」での生活習慣の改善状況

#### ■保護者を対象とした内容

問 4 「きたひろしま生活シート」の取組みによる保護者の意識

問 5 「きたひろしま生活シート」の取組みへの保護者の励まし